

はじめに

「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」 の実現を目指して

海、山、大地がもたらす豊かな恵み、先人たちのたゆまぬ努力により培われてきた歴史や文化、近代化とともに整備・充実が進んできた産業基盤や広域交通網、まちに対する熱い思いを胸に展開される地域活動や市民活動等々。私たちのまちには、当地の風土を形成し、発展の礎となってきた、多彩で魅力的な資源があふれています。これらの資源を、さらに磨き上げ、後世に紡いでいくことは、今を生きる私たちに課された大切な役割であると考えます。

一方で、私たちを取り巻く社会経済環境に目を転じますと、人口減少や少子化・高齢化の進行にとどまらず、激甚化・頻発化する自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、国際紛争に起因する食料・エネルギー問題など、先の見通しが難しい事案が散見される状況となっており、加えて、社会全体のデジタル化の急速な進展や脱炭素社会^{*}への転換は、私たちの生活様式や働き方、価値観さえも見直す契機となっています。

この度の上越市第7次総合計画は、このように、目まぐるしいスピードで変化を続ける社会において、いかに持続可能なまちを形作っていくかという命題の下で策定作業を進めることとなりました。そして、そこでの検討に当たっては、この先のまちのありたい姿を見出し、確かな展望をもって市政運営を行うための未来志向の観点から、市民の皆様、議会と議論を重ね、内容を固めてまいりました。

こうした過程を経て策定した本計画には、市内に存在する様々な資源、要素が重なり織りなされ、育まれた当市だからこそ感じられる価値を大切にしながら、市民それぞれの幸福感が満たされる地域社会の構築を目指していこうという思いが、根底に流れています。

また、社会の変化に伴う様々な困難な課題に直面した時に、柔軟に対応できるまちの力や、その基礎となる食料やエネルギー等の自給力を備えるなど、どのような状況下においても「生き抜いていく力」を有する「まち」と、そのまちを支える「ひと」づくりに力を注いで行きたいという思いが込められています。

今後は、新たなまちづくりの羅針盤となる本計画に基づき、市民を市政運営・まちづくりの中心に据えながら、暮らしの質を高めていくとともに、市民一人一人が新しい時代を切り開くために挑戦し、活躍できる環境を整え、次代を担う子どもや若者が帰ってきたくなる「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現を目指してまいります。

最後に、本計画の策定に当たり、総合計画審議会委員の皆様をはじめ、様々な機会を通じて貴重なお意見をいただきました市民の皆様、並びに関係各位に心から感謝申し上げます。

上越市長
中川 幹太



目次

| | | | |
|---------------------|----|-------------------|-----|
| I 序論 | 1 | III 基本計画 | 59 |
| 第1章 計画策定の背景 | 2 | 第1章 基本計画の概要 | 60 |
| 第1節 社会経済環境の変化 | 2 | 第1節 基本目標別施策体系一覧 | 60 |
| 第2節 当市の現状と課題 | 6 | 第2節 基本目標別施策の見方 | 62 |
| 第2章 まちづくりに対する市民の意見 | 16 | 第2章 基本目標別施策 | 64 |
| 第1節 市民の声アンケート | 16 | 基本目標1 | |
| 第2節 グループインタビュー | 18 | 支え合い、生き生きと暮らせるまち | |
| 第3節 まちづくり市民意見交換会 | 19 | こころと体の健康の増進 | 64 |
| 第4節 まちづくり学生ワークショップ | 20 | 地域医療体制の充実 | 66 |
| 第5節 小・中学生「まちづくり標語」 | 21 | 高齢者福祉の推進 | 68 |
| 第6節 当市の魅力とありたい姿 | 22 | 障害者福祉の推進 | 70 |
| | | 複合的な課題を抱える世帯への支援 | 72 |
| II 基本構想 | 25 | 基本目標2 | |
| 第1章 総合計画の策定に当たって | 26 | 安心安全、快適で開かれたまち | |
| 第1節 計画策定の趣旨 | 26 | 災害への対応力の強化 | 74 |
| 第2節 計画の位置付け | 27 | 災害に強い都市構造の構築 | 76 |
| 第3節 計画の構成と計画期間 | 27 | 地域防災力の維持・向上 | 78 |
| 第4節 計画の特徴 | 28 | 消防体制の整備 | 80 |
| 第2章 基本理念 | 30 | 防犯・交通安全対策の推進 | 82 |
| 第3章 将来都市像 | 32 | 快適な生活環境の保全 | 84 |
| 第4章 将来都市像の実現に向けて | 34 | 都市空間の整備・充実 | 86 |
| 第1節 5つの基本目標 | 34 | 土地利用政策の推進 | 88 |
| 第2節 基本目標別の方針 | 35 | 交通ネットワークの確立 | 90 |
| 第3節 政策展開の方向性 | 36 | 自然環境の保全 | 92 |
| 第4節 政策推進の考え方 | 46 | 地球環境への負荷が少ない社会の形成 | 94 |
| 第5章 土地利用構想 | 50 | 基本目標3 | |
| 第1節 土地利用の考え方 | 50 | 誰もが活躍できるまち | |
| 第2節 めりはりのある土地利用（面） | 54 | 人権・多様性の尊重 | 96 |
| 第3節 暮らしを支える拠点の構築（点） | 55 | 男女共同参画の推進 | 98 |
| 第4節 人や物の移動を支える | | 若者が活躍できる環境づくり | 100 |
| 交通ネットワークの構築（線） | 57 | コミュニティの充実 | 102 |
| | | 多様な市民活動の促進 | 104 |
| | | つながりの創出・拡大 | 106 |

| | | | |
|-----------------------|-----|---------------------------|-----|
| 基本目標 4 | | IV 資料 | 149 |
| 魅力と活力があふれるまち | | 第1章 地域自治区別の人口・世帯構成 | 150 |
| 地域に根付く産業の活性化 | 108 | 第1節 人口 | 150 |
| 企業立地・物流拠点化の推進 | 110 | 第2節 世帯構成 | 151 |
| 新産業・ビジネス機会の創出 | 112 | 第2章 基本目標別施策とSDGsの 対応一覧 | 152 |
| 雇用機会の拡大と就労支援 | 114 | 第3章 基本目標別施策における 成果指標一覧 | 154 |
| 観光振興の強化 | 116 | 第4章 用語解説一覧 | 170 |
| シティプロモーションの推進 | 118 | 第5章 策定経過 | 184 |
| 農業の振興 | 120 | 第1節 策定経過 | 184 |
| 林業・水産業の振興 | 122 | 第2節 策定経過一覧 | 188 |
| 農林水産業の価値と魅力向上 | 124 | 第3節 上越市総合計画審議会 | 189 |
| 基本目標 5 | | | |
| 次代を担うひとを育むまち | | | |
| 切れ目のない子育て支援 | 126 | | |
| 子育て環境の充実 | 128 | | |
| 主体的な学びを支える学校教育の充実 | 130 | | |
| 教育環境の充実 | 132 | | |
| 多様な学びの推進 | 134 | | |
| スポーツの振興 | 136 | | |
| 文化活動の振興 | 138 | | |
| 第3章 重点テーマ | 140 | | |
| 第1節 重点テーマの設定 | 140 | | |
| 第2節 重点テーマの構成 | 140 | | |
| 第3節 4つの重点テーマ | 142 | | |
| 活動人口の創出（ヒューマン） | 142 | | |
| 地域活力の創造（コミュニティ） | 143 | | |
| 地域DXの推進（デジタル） | 144 | | |
| 脱炭素社会の形成（グリーン） | 145 | | |
| 第4章 計画の推進に当たって | 146 | | |
| 第1節 計画の推進に向けた視点 | 146 | | |
| 第2節 計画の進捗管理 | 146 | | |
| 第3節 計画の評価検証 | 147 | | |
| 第4節 各種個別計画の管理 | 147 | | |

- 本文中に「※」を付している用語は、「IV 資料 第4章 用語解説一覧」（P170以降）に解説が記載されています。
- 令和5年4月1日の上越市行政組織の改編を踏まえ、部課等の名称を記載しています。

春 - Spring -



- ①妙高サンシャインランド (中郷区) ②正善寺ダム ③大池いこいの森 (頸城区) ④郷津海岸
 ⑤大月の棚田 (牧区) ⑥糸しんの里やすらぎ荘 (板倉区) ⑦釜蓋遺跡公園 ⑧五智公園
 ⑨虫川の大杉 (浦川原区) ⑩謙信公武道館 ⑪村屋のしだれ桜 (吉川区) ⑫うみてらす名立 (名立区)

「#止越もよう」
 My Favorite Joetsu

序論

基本構想

基本計画

資料